

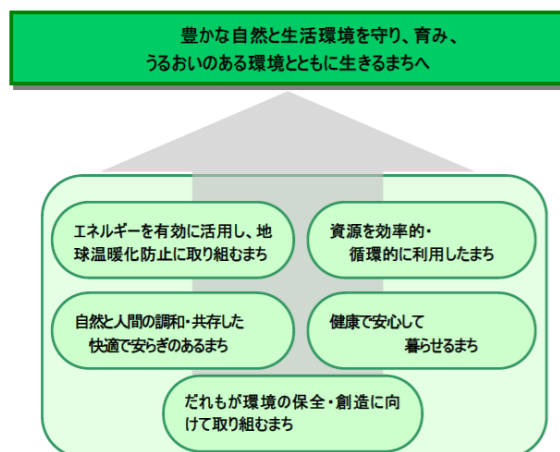
次期環境基本計画の骨子について

現在の環境基本計画

(第1章) 計画の基本的事項

- ・計画の位置付け ①千葉市環境基本条例に基づき策定
②千葉市新基本計画の環境分野の個別計画
- ・計画期間 2011年度～2021年度(11年間)

(第2章) 千葉市の目指す環境像と基本目標



1 エネルギーを有効に活用し、地球温暖化防止に取り組むまち

- ①エネルギーを環境にやさしく利用する
- ②再生可能エネルギー、未利用エネルギーを活用する
- ③ヒートアイランド対策を推進する

2 資源を効率的・循環的に利用したまち

- ④資源を大切に利用する
- ⑤廃棄物の発生を抑制する
- ⑥廃棄物を適正に処理する

3 自然と人間の調和・共存した快適で安らぎのあるまち

- ⑦豊かな生物多様性と健全な生態系を確保する
- ⑧豊かな緑と身近にふれあえる水辺を確保する
- ⑨良好な景観を保全・創造する
- ⑩自然とふれあう

4 健康で安心して暮らせるまち

- ⑪空気のきれいさを確保する
- ⑫川・海・池のきれいさを確保する
- ⑬まちの静けさやすがすがしさを確保する
- ⑭有害な化学物質による環境汚染を未然に防止する
- ⑮地下水・土壌等の安全を確保する

5 だれもが環境の保全・創造に向けて取り組むまち

- ⑯環境保全・創造の意欲を増進する
- ⑰環境教育を推進する
- ⑱市民、事業者、民間団体等との連携を推進する
- ⑲環境関連産業を育成し、技術開発を促進する
- ⑳地域間協力・国際協力を推進する

(第3章) 基本目標達成に向けた取組み

(第4章) 定量目標

(第5章) 事業別・行政区別環境配慮指針

(第6章) 環境基本計画の推進

- ・推進体制
- ・基本計画の点検評価

(資料)

- ・全体構成図
- ・千葉市環境基本条例
- ・計画策定の経緯

《次期計画の構成検討における背景》

◆国・県・市等の主な動向等

【反映】新計画/第2章、第3章

- ・SDGsの17のゴールに対し、我が国でも気候変動、持続可能な消費と生産(循環型社会形成の取組み等)等の分野において積極的に取組みを展開する方針
- ・国の第五次環境基本計画においては、SDGsの考え方を活用し、経済・社会に関する諸課題を環境面から同時解決の実現を推進
- ・菅首相による所信表明演説において、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言
- ・二酸化炭素排出抑制に向け、「緩和策」「適応策」を掲げた千葉市気候危機行動宣言を发出
- ・令和元年房総半島台風による大規模停電、災害廃棄物の大量発生への対応
- ・新型コロナウイルス感染症の流行に伴う社会変化

◆将来予測

【反映】新計画/第2章

- ・二酸化炭素排出削減の伸び悩み、地球温暖化によるさらなる気温上昇と影響拡大
- ・再生可能エネルギー導入の増強、導入量増加の必要性拡大
- ・人口減少に伴う家庭系ごみ排出量の減少、製造工程におけるAI活用・自動化、テレワークの進展等事業系ごみ排出量の減少
- ・世界的な脱プラスチックの加速化
- ・人口減少による谷津田・森林・農地の荒廃が加速、気候変動による生態系への影響が発生
- ・環境基準は概ね達成した状況を維持、環境基準の適用されない項目等への対応が必要
- ・若年層における環境活動家の増加、ドローンやIoTなどを活用した環境学習

◆現行計画の進捗状況

【反映】新計画/第2章、別冊

- ・現行計画の進捗状況は、大半の定量目標及び点検・評価指標で改善もしくは現状維持
ただし、未利用エネルギーの活用、人材育成数、環境分野における相談件数等については後退
- ・環境審議会及び庁内WGにおける過去の意見聴取では、数量目標の設定、点検・評価方法について多く意見が寄せられており、見直しが必要

◆市民等の意向(アンケート結果)

【反映】新計画/第2章

- ・多くの市民が全ての5つの柱について重要であることを認識
- ・未来の姿として、特に“緑”“自然の豊かさ”に関するキーワードが多く、未来を連想させる“子ども”や、“住みやすい”など暮らしの質の向上が挙げられた
- ・未来の姿を実現するために必要なこととして、全ての分野で多くの意見があり、全ての分野で様々な取組みが望まれている
- ・指標についてはほぼ全ての項目で「適切である」との回答が「適切でない」を上回っているが、目標の達成に向けた指標としてはイメージを抱きにくいという項目も散見された。

新計画策定の基本的な考え方

方針1 SDGsの考え方を最大限取り入れた計画作り

環境・経済・社会の三側面の統合的向上を目指す方向性、バックキャストなどの特徴を反映するとともに、SDGsゴールとの関係性を整理する

方針2 変化に対応する計画作り

実施事業や環境目標値等、短期的な取組みや見直しに伴う指標について別冊とするなどし、適宜見直しを図ることを可能とした構成とする

方針3 目標・達成状況が分かりやすい計画作り

5つの柱及び基本目標の達成状況を把握するための目標値として、重要目標達成指標(KGI)を、各施策の進捗状況を把握する指標として成果指標(KPI)を設定する

方針4 関連する計画と整合の取れた計画作り

「(仮称)千葉市基本計画」と整合を図るとともに、環境分野の保全・創造に向けた部門別計画との役割を明確にする

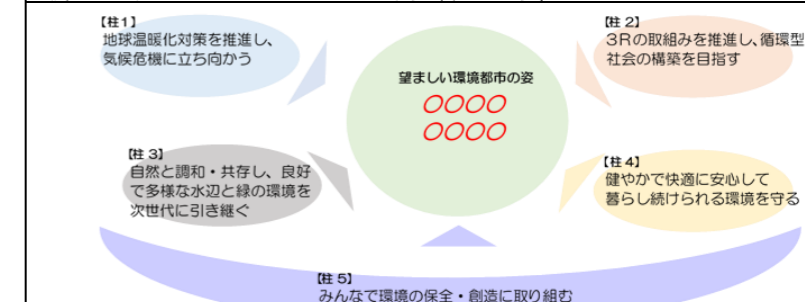
次期環境基本計画(案)

はじめに

(第1章) 環境基本計画の基本的事項について

- ・計画の位置付け ①千葉市環境基本条例に基づき策定
②(仮称)千葉市基本計画の環境分野の個別計画
- ・計画期間 2022年度～2032年度(11年間)

(第2章) 本計画で目指す環境都市の姿・5つの柱・基本目標



1 地球温暖化対策を推進し、気候危機に立ち向かう

- 1-1 二酸化炭素排出削減に向けた「緩和策」を推進する
- 1-2 気候変動による影響への「適応策」を推進する

2 3Rの取組みを推進し、循環型社会の構築を目指す

- 2-1 2Rの取組みを推進する
- 2-2 リサイクルを推進する
- 2-3 廃棄物を適正に処理する

3 自然と調和・共存し、良好で多様な水辺と緑の環境を次世代に引き継ぐ

- 3-1 生物多様性に富んだ生態系を保全する
- 3-2 豊かな緑と水辺を保全・活用する
- 3-3 良好な景観を保全・創造する
- 3-4 自然とふれあう機会を創出する

4 健やかで快適に安心して暮らし続けられる環境を守る

- 4-1 空気のきれいさを確保する
- 4-2 川・海・池のきれいさを確保する
- 4-3 地下水・土壌等の安全を確保する
- 4-4 騒音等を低減し静けさや心地よさを確保する
- 4-5 化学物質による環境リスクを未然に防止する

5 みんなで環境の保全・創造に取り組む

- 5-1 環境教育を通じて主体的に環境保全活動に取り組む人材を育成する
- 5-2 あらゆるステークホルダーとの連携を推進する
- 5-3 環境関連産業の育成に取り組み、環境と経済の好循環を推進する

(第3章) 環境基本計画とSDGsとの関係性【新規】

- ・本計画及び5つの柱・基本目標とSDGsの関係性
- ・SDGsの考え方・横断的な施策

(第4章) 環境基本計画の推進について

- ・各主体の役割と取組み・推進体制・進捗管理

本編

別冊

- 1 5つの柱と基本目標の達成に向けた取組み
- 2 環境目標値
- 3 事業別・行政区別環境配慮指針

(資料)

- 1 社会情勢 2 市政の概況
- 3 環境を取巻く現況と課題 4 千葉市の取組状況
- 5 千葉市環境基本条例 6 環境基本計画策定の経緯
- 7 委員名簿 8 用語解説

5つの柱それぞれに指標を設定し達成状況を評価

各基本目標に指標を設定し達成状況を評価